



令和4年 6月 13日
第 477号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

「人を大切にする」とは

校長 飯塚 進

「人を大切にする」とはどういうことか、を一般論として一言で言い表すことはなかなか難しいと思います。「やさしくすること」もそれに当てはまるでしょうし、「厳しく指導すること」も時には必要なことかと思えます。そこで、具体的な子どもたちの行動で考えてみたいと思います。

ある日の昼休み、私がグラウンドに行こうと思って、児童玄関の前に行ったら、小物を入れるポーチが落ちていました。幸いなことにちゃんと名前が書いてありました。届けようと思っていたら、ある子が、「私の知っている子だから届けます。」と言って、持っていってくれました。親切な子だなと思い、そのことを担任に伝えたところ、担任も喜びました。近くの子どもたちもいい話だねと言って拍手をしていました。

別の日の話です。私が、職員室で職員と話をしていたところ、ある子が、「失礼します。〇年〇組の〇〇です。理科室の鍵を取りに来ました。」と言って入ってきました。はきはきと礼儀正しい言葉づかいでした。

1つ目の話では、ポーチを落としてしまった子は、もどってきてうれしかったと思います。私も親切にされたのでうれしい気持ちになりました。そのことを知った担任やクラスの友達もうれしくなったと思います。

2つ目の話で、職員室への入り方がきちんとしている子を見た職員も私も、とても清々しい気持ちになりました。

2人の子どもに共通するのは、周りにいる人をうれしい気持ちや清々しい気持ちにしてくれたということです。このことは結果的に、人を大切にしていることになるのではないかと思うのです。

子どもたちのよい行動は、その周りにいる人を幸せな気持ちにします。大きなことをする必要はないと思います。目の前のどんな小さなことでもいいから、よいと思ったことをやること、このことが「人を大切にする」につながるのではないかと考えました。

6月は、いじめ見逃しゼロ強調月間であり、生活のめあては、「ふわふわことばをふやそう」です。東豊小の子どもたちが、ますます「人を大切にする」子どもたちになってほしいと願います。